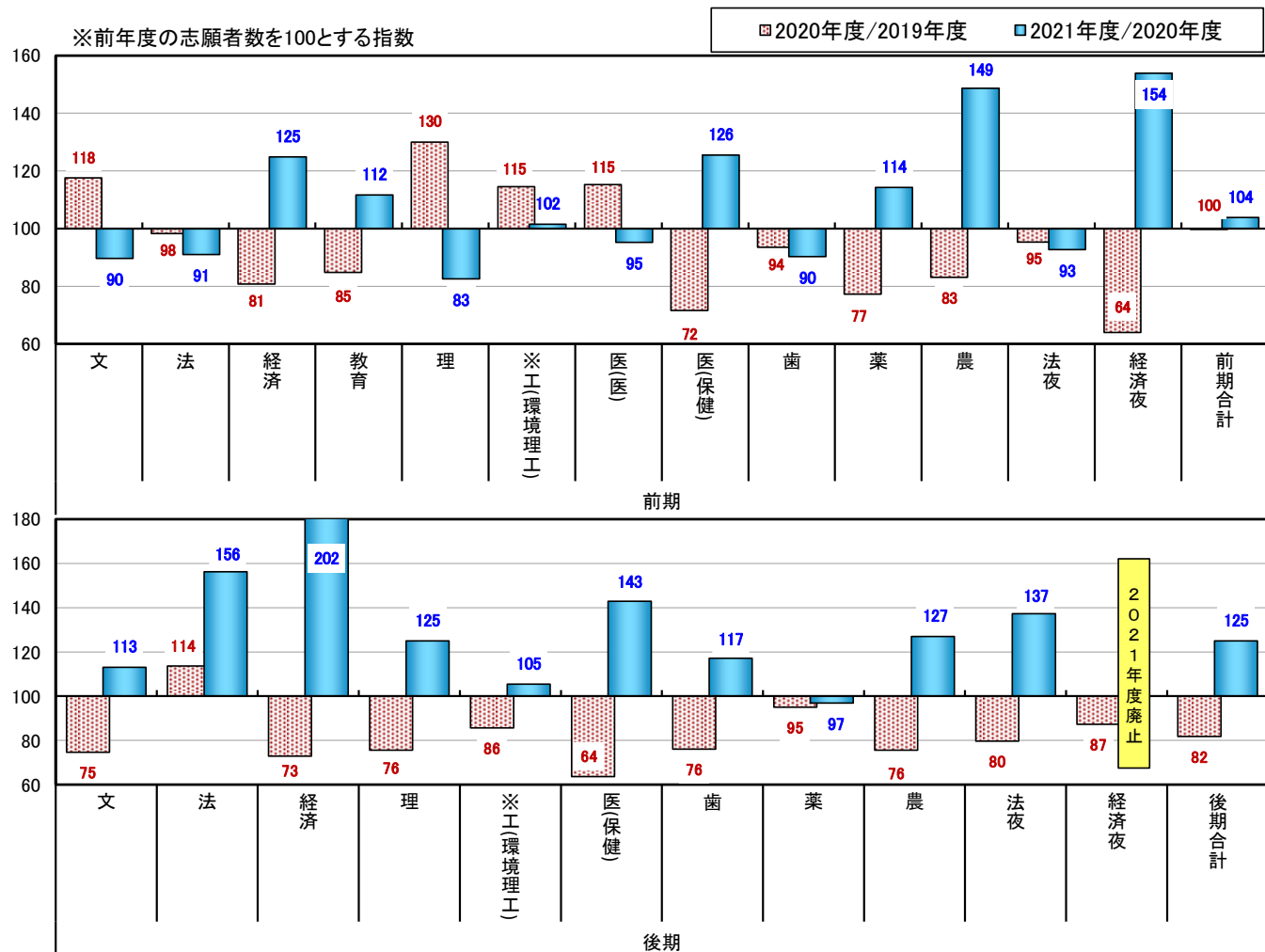


2021年度入試状況分析【国公立大】

岡山大：前期はやや増加、後期は大幅増加

前期：+128人 後期：+337人



※2021年度新「工」は、2020年度旧「工」+旧「環境理工」と比較

入試変更点

学部改組：工(機械システム系)〈前〉89人、〈後〉20人→工(工/機械システム系)〈前〉97人、〈後〉10人
 環境理工(環境デザイン工、環境管理工)〈前〉62人、〈後〉16人
 →工(工/環境・社会基盤系)〈前〉73人、〈後〉10人
 工(電気通信系、情報系)〈前〉106人、〈後〉21人、環境理工(環境数理)〈前〉15人
 →工(工/情報・電気・数理・データサイエンス系)〈前〉137人、〈後〉10人
 工(化学生命系)〈前〉88人、〈後〉23人、環境理工(環境物質工)〈前〉30人
 →工(工/化学・生命系)〈前〉122人、〈後〉10人

選抜方法：経済夜〈後〉…後期廃止
 募集人員：法…〈前〉141人→140人
 経済…〈後〉25人→24人
 経済夜…〈前〉14人→15人、〈後〉6人→0人
 農…〈前〉78人→86人、〈後〉18人→10人

個別試験：薬(薬)〈前〉…数+理2+外 ※理：物or化or生→数+理2+外+面 ※理：化+(物or生)
 (創製薬科学)〈前〉…数+理2+外 ※理：物or化or生→数+理2+外+面 ※理：化+(物or生)
 〈後〉…論→論+面
 医(保健/看護)〈前〉…理1+外+面 ※理：物or化or生→理1+外 ※理：物or化or生
 (保健/放射線技術)〈前〉…数+理2+外+面 ※理：物+(化or生)
 →数+理2+外 ※理：物+(化or生)
 (保健/検査技術)〈前〉…数+理2+外+面 ※理：(物or化or生)→2
 →数+理2+外 ※理：(物or化or生)→2
 ※面：実施→廃止 コロナ禍対策によるもの

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数

大学全体では、465人(110)の増加。前期は128人(104)のやや増加。後期は難関大からの併願先として狙われて、337人(125)の大幅増加、学部別で減少したのは薬のみで、募集人員(前年度募集人員対比指数78)が大幅減少したこともあって、後期全体の志願倍率も5.5倍→8.8倍にアップ。なお、法夜、経済夜を除くと、前期は110人(103)のやや増加、後期は373人(130)の大幅増加。

2021 年度入試状況分析【国公立大】

＜前期日程＞

- 文(90)は、前年度大幅増加の反動で減少。
- 法(91)は、減少で3年連続減少。
- 経済(125)は、3年連続減少の反動で大幅増加。
- 教育(112)は、前年度大幅減少の反動で増加。課程・コース・教科別では、(学校教育／特別支援)(200)は倍増、(学校教育／中学(実技))(130)、学校教育(学校教育／幼児)(124)、学校教育(学校教育／小学校)(117)はいずれも大幅増加。一方で、(養護教諭養成)(63)は前年度大幅増加の反動で大幅減少。
- 理(83)は、前年度大幅増加の反動で大幅減少。学科別では、(物理)(147)は5学科中唯一の増加で大幅増加。一方で、(生物)(54)、(数学)(63)、(化学)(75)はいずれも大幅減少、(地球科学)(92)は減少で2年連続減少。
- 工は、旧工と旧環境理工が統合されたので、学部全体は旧2学部の合計、学科・系別は統合前の該当する旧学部・学科別の合計と比較する。学部全体では、(102)の微増で2年連続増加。学科・系別では、(工／機械システム系)(122)は旧工(機械システム系)との比較で、2年連続減少の反動で大幅増加、募集人員(前年度募集人員対比指数109)が増加したが、志願倍率は1.7倍→1.9倍にアップ。(工／情報・電気・数理・データサイエンス系)(108)は旧工(電気通信系)(情報系)と旧環境理工(環境数理)の合計との比較で、2年連続増加。しかし、募集人員(前年度募集人員対比指数113)が増加したことで、志願倍率は2.3倍→2.2倍にダウン。(工／環境・社会基盤系)(107)は旧環境理工(環境デザイン工)(環境管理工)の合計との比較で、やや増加で3年連続増加。しかし、募集人員(前年度募集人員対比指数118)が増加したことで、志願倍率は2.2倍→2.0倍にダウン。一方で、(工／化学・生命系)(81)は旧工(化学生命系)と旧環境理工(環境物質工)の合計との比較で、前年度大幅増加の反動で大幅減少。さらに、募集人員(前年度募集人員対比指数103)がやや増加したことで、志願倍率は2.4倍→1.9倍にダウン。
- 医(医)(95)は、2年連続増加の反動でやや減少。
- 医(保健)(126)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。専攻別では、(保健／放射線技術)(182)は激増、(保健／検査技術)(126)は大幅増加。一方で、(保健／看護)(93)はやや減少で2年連続減少となり、志願倍率は2.1倍→1.4倍→1.3倍までダウン。
- 歯(90)は、減少で3年連続減少、志願倍率は2.2倍にダウン。
- 薬(114)は、3年連続減少の反動から増加。学科別では、(創薬科学)(132)は大幅増加、(薬)(105)はやや増加。
- 農(149)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。

＜後期日程＞

- 文(113)は、前年度大幅減少の反動で増加。
- 法(156)は、大幅増加で2年連続増加。
- 経済(202)は、2年連続減少の反動で、倍増以上の激増。
- 理(125)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。学科別では、(地球科学)(333)は前年度半減以下の反動で3倍以上の激増、(生物)(160)、(物理)(136)は大幅増加、いずれも前年度減少の反動。一方で、(数学)(38)は前年度倍増以上の反動で激減、(化学)(90)は減少で2年連続減少。
- 工は、旧工と旧環境理工が統合されたので、学部全体は旧2学部の合計、学科・系別は統合前の該当する学科別の合計と比較する。学部全体では、(105)のやや増加だが、募集人員が半減なので、志願倍率は4.0倍→8.3倍に大幅アップ。学科・系別では、(工／情報・電気・数理・データサイエンス系)(140)は旧工(電気通信系)(情報系)の合計との比較で、2年連続減少の反動で大幅増加。さらに、募集人員(前年度募集人員対比指数48)が半減以下で、志願倍率は3.5倍→10.2倍に大幅アップ。(工／機械システム系)(136)は旧工(機械システム系)との比較で、3年連続減少の反動で大幅増加、さらに募集人員半減で、志願倍率は2.8倍→7.6倍に大幅アップ。(工／化学・生命系)(123)は旧工(化学生命系)との比較で、前年度大幅減少の反動で大幅増加。さらに、募集人員(前年度募集人員対比指数43)が半減以下で、志願倍率は2.7倍→7.6倍に大幅アップ。(工／環境・社会基盤系)(63)は旧環境理工(環境デザイン工)(環境管理工)の合計との比較で、前年度大幅増加の反動で大幅減少。しかし、募集人員(前年度募集人員対比指数63)もほぼ同じ割合で減少したことで、志願倍率は7.8倍→7.9倍と前年度並。
- 医(保健)(143)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。専攻別では、(保健／放射線技術)(196)、(保健／看護)(161)が大幅増加、いずれも前年度大幅増加の反動。
- 歯(117)は、前年度大幅減少の反動で大幅増加。
- 薬(97)は、やや減少で3年連続減少。学科別では、(創薬科学)(126)は2年連続大幅減少の反動で大幅増加、薬(83)は前年度増加の反動で大幅減少と対照的。
- 農(127)は、3年連続減少の反動で大幅増加。